

## ベビーブレス R

### 【禁忌・禁止】

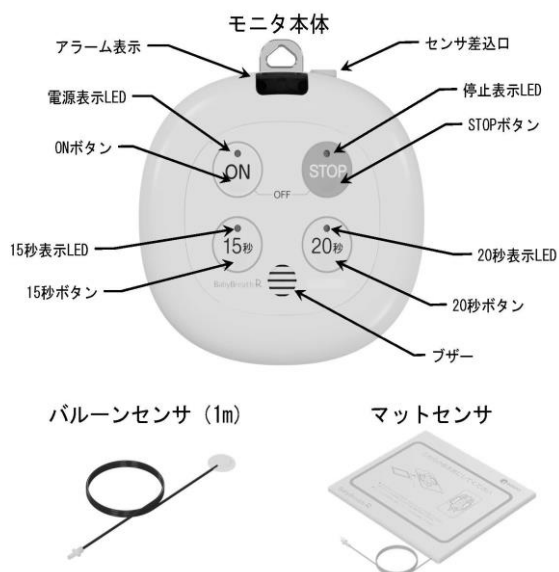
#### 適用対象

本装置は乳幼児のみに使用すること。[成人では正しく無体動を検知できないため。]

### 【形状・構造及び原理等】

#### 形状

##### 外観図



#### 機能

##### 1. 体動表示

- ・体動に同期して 15 秒又は 20 秒の LED ランプの点滅と体動同調音が発生する。
- ・STOP ボタンを押すことにより無体動アラームが停止する。

##### 2. 無体動検出

無体動 15 秒、または 20 秒以上で無体動アラームが発生する。

##### 3. 電圧低下検出

- ・電池電圧  $3.6V \pm 5\%$  で電池切れアラームが発生する。
- ・内蔵電池  $2.1V \pm 5\%$  で電池切れアラームが発生する。

##### 4. 本体

| 名称        | 機能説明                                         |
|-----------|----------------------------------------------|
| *ON ボタン   | *本体電源を入れる。電源を切るに場合は STOP ボタンと同時に押す。          |
| *STOP ボタン | 視覚的及び聴覚的なアラームを停止する。<br>*長押しして体動監視を一時停止・解除する。 |
| 15 秒ボタン   | 無体動を検出する時間を「15 秒」に設定する。                      |
| 20 秒ボタン   | 無体動を検出する時間を「20 秒」に設定する。                      |
| ブザー       | ボタン操作の確認音、体動同調音、アラーム音を発する                    |
| アラーム表示    | 無体動検出時に点滅して告示する。                             |
| センサ差込口    | バルーンセンサおよびマットセンサを接続する。                       |

##### 5. バルーンセンサ

本体に接続し、体動を検知する。

##### 6. マットセンサ

本体に接続し、体動を検知する。

#### 付帯機能

- ・本装置には、内蔵電池をモニタする機能があり内蔵電池の電圧が  $3.6V$  より下がると、電源表示 LED を赤色に点滅し、また起動時は本体の電源を切る。
- ・本体に記憶媒体が取り付けられていない、記録媒体に異常がある場合は、警告を発する。

#### 作動・動作原理お

乳幼児の体動を腹部に装着したバルーンセンサ、または乳幼児の下に設置されたマットセンサにより検知する。バルーンセンサ、マットセンサは体動により圧迫された内部の空気圧が変化する。この気圧の変化は、チューブを介して本体の検知器に送られる。検知器では気圧の変化を圧電素子へ介して電圧の変化に変換する。電圧に変換された電気信号は、内部の CPU にて処理を行い、無体動の検出、LED 表示および警告音に使用する。

#### 仕様

電源：単 3 形アルカリ乾電池(1.5V) 3 本

寸法：約 W130mm × H120mm × D33mm (突起物は除く)

重量：約 230g (電池を含む)

定格電圧：DC4.5V

#### 機器の分類

電撃に対する保護の形式：内部電源機器

電撃に対する保護の程度：B 形装着部

### 【使用目的又は効果】

#### 使用目的

体動を検出するために用いるセンサをいう。通常、睡眠障害（不眠症、いびき、睡眠時無呼吸等）の評価に用いる。

### 【使用方法等】

#### 使用方法

##### 1. 使用前点検

- (1) 本体の電池ケースを開け、単 3 形アルカリ乾電池 3 本が正しい方向に入っていることを確認し、電池ケースを取付ける。
- (2) センサ接続口にセンサを奥まで差し込む。
- (3) ON ボタンを 3 秒間長押しし、電源表示 LED が緑色に点滅する。
- (4) 本体の乾電池の残量確認を行い、緑に点灯しそのまま体動監視に入る。電池の電圧が  $3.6V$  を下回る場合には電源表示 LED が赤色に点灯し、その後自動的に電源が切れる。
- (5) バルーンセンサのバルーン部分を軽く指で叩く、またマットセンサを手で軽く押すと、15 秒表示 LED または 20 秒表示 LED が同調音（クリック音）と共に点灯する。操作を繰り返すと LED が点灯し、同調音（クリック音）が鳴ることを確認する。
- (6) センサに触れる操作を止めて、15 秒または 20 秒の検出時間経過後にアラーム音が鳴り、アラーム表示が点滅することを確認する。
- (7) STOP ボタンを押し、アラーム音を止める。
- (8) ON ボタンと STOP ボタンを同時に 3 秒以上長押しし、本体の電源を切る。
- (9) センサを本体から抜く。

##### 2. 使用前の準備

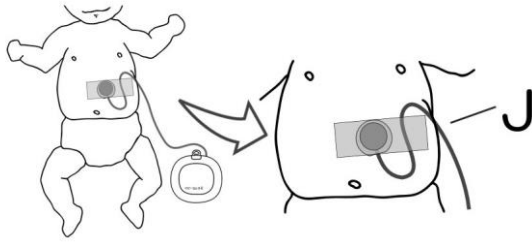
- (1) 使用するセンサを決め、それぞれに応じたセンサの装着（バルーン）または設置（マット）を行う。（同時に 2 種類のセンサの取付け、使用はできない。）

##### 1) バルーンセンサを使用する場合

下図のようにバルーンセンサを乳幼児に取り付ける。サージカルテープを用いて、乳幼児の肋骨と臍部の間

取扱説明書を必ずご参照ください。

で呼吸の際に動きが大きい部位に、「J」の字を描くように固定する。



#### 2) マットセンサを使用する場合

マットセンサのチューブが足側になるように設置し、乳幼児がマットセンサの上に寝ていることを確認する。

- (2) バルーンセンサまたはマットセンサを本体のセンサ差込口に挿入する。奥までしっかり挿入されていることを確認する。

#### 3. 使用方法

- (1) 本体の ON ボタンを 3 秒間長押しし、電源表示 LED が緑色に点灯する。  
(2) 本体の初期化が開始され、電源表示 LED が緑に点灯する。  
(3) 本体で乾電池の残量確認を行い、電池の電圧が 3.6V を下回る場合には電源表示 LED が赤色に点灯し、その後自動的に電源が切れる。電池残量が 3.6V 以上の時には、そのまま体動監視に入る。

#### 4. 無体動検出時間と体動検出音の設定

- (1) 無体動検出時間を「15 秒」に設定  
・「15 秒」ボタンを 3 秒間長押しする。  
・「15 秒」に設定されると体動検知時に 15 秒表示 LED が点灯する。  
(2) 無体動検出時間を「20 秒」に設定  
・「20 秒」ボタンを 3 秒間長押しする。  
・「20 秒」に設定されると体動検知時に 20 秒表示 LED が点灯する。  
(3) 体動検出音有効/無効の切り替え  
・「15 秒」ボタンと「20 秒」ボタンを同時に 3 秒間長押しする  
・無効から有効に切替わった時には 15 秒表示 LED または 20 秒表示 LED が 2 回点灯し、同時にブザーが 2 回鳴る。  
・有効から無効に切替わった時には 15 秒表示 LED または 20 秒表示 LED が 2 回点灯する。

#### 5. 体動監視の一時停止

- (1) 体動監視中に「STOP」ボタンを 3 秒間長押しすると、一時停止になり、停止表示 LED が赤色に点滅する。停止表示 LED が点滅している間は無体動監視時間を超えても、視覚的及び聴覚的アラームは発生しない。

\* (2) 一時停止中に STOP ボタンを 3 秒間長押しすると体動監視を再開する。また、一定期間に体動を感じても自動的に体動監視が再開する。

#### 6. 体動検知

- (1) 体動監視状態にて、センサが体動を検知すると 15 秒表示 LED または 20 秒表示 LED (どちらが有効設定になっている方) の LED が点灯する。  
(2) 体動監視状態で 15 秒または 20 秒間体動が検知されない場合には、無体動状態となりアラーム音が鳴ると同時にアラーム表示が赤く点滅する。  
(3) アラーム発生後に再度体動を 4 回感知した場合にはアラーム音は消えるが、アラーム表示は赤く点滅したままの状態になる。アラーム表示の点滅を消すには STOP ボタンを押す。  
(4) アラーム発生後、STOP ボタンを押すとアラーム音やアラーム表示は消える。  
(5) アラーム発生後はアラーム発生前最大 10 分と発生後最大 10 分 (停止を押した場合にはそれまでの時間分) の波形データが記録媒体に保存される。

#### 7. 本体の終了

- (1) 「ON」ボタンと「STOP」ボタンを同時に 3 秒間長押しする。

(2) 電源停止を知らせるためにブザーが 1 回鳴り、本体の電源が切れる。

(3) センサを取り外す。

(4) モニタとセンサを所定の容器に収納して清潔で乾燥した場所に保管する。

#### 使用方法に関連する使用上の注意

- ・本装置を使用する度に、動作確認を行うこと。
- ・水やその他の液体、ほこり等の粉塵が本装置に付着したり、入り込んだりしないようにすること。
- ・バルーンセンサを取り付ける時はサージカルテープ以外を使用しないこと。

#### 【使用上の注意】

##### 重要な基本的注意

1. 電源を入れたまま、単 3 形アルカリ乾電池を外さないこと。[保存データが失われる可能性があるため。]
2. バルーンセンサ使用時、以下の場合には、体動の検出が不正確になる可能性がある。
  - ・バルーンセンサを正しく取り付けていない場合。
  - ・乳幼児のうつぶせで寝ている時にバルーンセンサが押しつぶされている場合。
  - ・抱き上げ (抱っこ) 及び縦抱き時にバルーンセンサが押しつぶされている場合。
3. マットセンサ使用時、以下の場合には体動の検出が不正確になる可能性がある。
  - ・乳幼児以外の人為的要因および環境的要因でマットセンサに影響を与える場合。

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### 保管方法

- ・水濡れ、高温多湿、粉塵及び直射日光を避けて保管すること。
- ・化学薬品の保管場所や有毒ガスのある場所に保管しないこと。
- ・保管条件：周囲温度 0~40℃  
相対湿度 1~50% (結露なきこと)
- ・保管時/運搬時は、振動/衝撃等に注意すること。長期間 (2 週間以上) 使用しない場合は、電池を取外すこと。

##### 耐用期間・使用期間

6 年 (自己認証による)

#### 【保守・点検に係る事項】

##### 使用者による保守点検事項

- ・本体の表面は、乾いた清潔な布で定期的に拭くこと。
- ・使用後は清潔を保ち、湿気やほこりから守ること。また極度の温度下に放置しないこと。
- ・使用者により使用毎に使用前点検を行う。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：日本ルフト株式会社

住 所：〒101-0054

東京都千代田区神田錦町 2 丁目 7 番地 5

電 話 番 号：03-3518-2001

取扱説明書を必ずご参照ください。